

平成24年3月市議会における政策提案とその対策等

〔議案質疑・**一般質問**・委員会〕

担当課	市民図書館	議員名	盛 泰子 議員																
<p>〔提案事項〕</p> <p>「伊万里市民図書館の望ましい基準」における雑誌購入の数値目標を達成するため、雑誌スポンサー制度についての導入の検討を行なっていただきたい。</p> <p>※雑誌スポンサー制度 企業等に雑誌を購入してもらい代償として、その雑誌の表紙に購入した企業の名前のラベルを貼るといったもの。</p>																			
<p>〔現況等〕</p> <p>平成16年度に策定した「伊万里市民図書館の望ましい基準」では、雑誌購入の数値目標を250誌としているが、厳しい財政状況の中、平成24年度の雑誌購入数は174誌であった。また、平成27年度には158誌まで落ち込み、さらに平成28年度の雑誌購入予定数は146誌まで減少している。県内では佐賀県立図書館、佐賀市立図書館、唐津市近代図書館が、雑誌カバー等に有料広告を出す制度を実施しているが、応募が非常に少ないことが課題となっている。原因として、雑誌に広告を出しても効果が低いことと、有料広告を出せる余裕のある企業が少ないことが挙げられる。</p> <p>そんな中で、伊万里市として取り組める方法として、図書館友の会である図書館フレンズいまりを通じて、市民から雑誌の寄附を受ける形でタイトル数を増やす方策を検討しているところである。</p>																			
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>(計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>H25年5月</td> <td>要綱案について図書館担当者により協議を始める</td> </tr> <tr> <td>H26年2月</td> <td>雑誌スポンサー導入のための要綱案を制定</td> </tr> <tr> <td>H26年3月</td> <td>要綱案について教育委員会と協議を行う</td> </tr> <tr> <td>H28年1月</td> <td>要綱案を作成し、募集のための実施要項について協議</td> </tr> <tr> <td>H28年4月</td> <td>従来の雑誌スポンサー募集の計画を修正</td> </tr> <tr> <td>H28年9月</td> <td>代替案の要項を整備するための協議</td> </tr> <tr> <td>H28年12月</td> <td>代替案として企業から寄贈された雑誌を試行的に登録</td> </tr> <tr> <td>H30年3月</td> <td>図書館フレンズいまりから寄贈を受けた雑誌の運用を制度化し、供用を始める</td> </tr> </table>				H25年5月	要綱案について図書館担当者により協議を始める	H26年2月	雑誌スポンサー導入のための要綱案を制定	H26年3月	要綱案について教育委員会と協議を行う	H28年1月	要綱案を作成し、募集のための実施要項について協議	H28年4月	従来の雑誌スポンサー募集の計画を修正	H28年9月	代替案の要項を整備するための協議	H28年12月	代替案として企業から寄贈された雑誌を試行的に登録	H30年3月	図書館フレンズいまりから寄贈を受けた雑誌の運用を制度化し、供用を始める
H25年5月	要綱案について図書館担当者により協議を始める																		
H26年2月	雑誌スポンサー導入のための要綱案を制定																		
H26年3月	要綱案について教育委員会と協議を行う																		
H28年1月	要綱案を作成し、募集のための実施要項について協議																		
H28年4月	従来の雑誌スポンサー募集の計画を修正																		
H28年9月	代替案の要項を整備するための協議																		
H28年12月	代替案として企業から寄贈された雑誌を試行的に登録																		
H30年3月	図書館フレンズいまりから寄贈を受けた雑誌の運用を制度化し、供用を始める																		
<p>〔対応状況・平成30年3月31日現在〕</p> <p>平成25年度から図書館担当者で構成する会議において、雑誌スポンサー制度要綱案について協議をした。また、教育委員会との協議を進め、募集を行うための実施要項の作成に入り、スポンサーの募集及び審議を行うことができるよう準備を進めていた。</p> <p>しかしながら、募集をかけても応募が少ないという問題に対しては、他の図書館でも効果的な手立は見つかっていないため、実施には至らなかった。</p> <p>一方で、友の会である図書館フレンズいまりとの意見交換では広告を出さず、市民から雑誌の寄贈を受けることで、効果的に雑誌のタイトル数を確保する方策について協議を進めた。その後、企業から寄贈された定期刊行物と図書館フレンズいまりから寄贈を受けた雑誌を試行的に登録して、運用の手順を協議し、雑誌スポンサー制度の代わりに平成30年度から利用を始めることになった。【完了】</p>																			